

**渡辺** 自治会長という仕事があんまりにも多忙すぎるんじゃないかと思いますが。あんまり多忙になると、自治会長をやるところの「作」が変わると、そういうんです。自治会長に対する市役所業務の負担を軽減してもらいたい。

**市長** 町村合併直後、自治会のあり方にについて基準を示したことがあります。

その後、新しい地域社会における自治活動はどうあるべきかと、これが大きな問題になっています。

現状は、自治会長は市役所事務の取次ぎというよくなことが多くて、本当の意味での自治活動に専念できません。なほだしいのは自治会長にな

り手がなくて困るというところもある。一方、地域の仕事をうまく分担しあって機能的に運営しているところもある。

調査した、文書の配布だ、要望の取りまとめだなどと、実際市役所でどうしても自治会に頼らねばならないことがたくさんあります。満足なだけの委託料をおあげできずに入念にしているんです。何とかこうして仕事を減らすようにといふことで、個人宛の通知や連絡など一日三百件くらいあるんですが、これを原則として郵送するなど努力はしております。そこで、現在の地域社会における自治活動のあり方を、

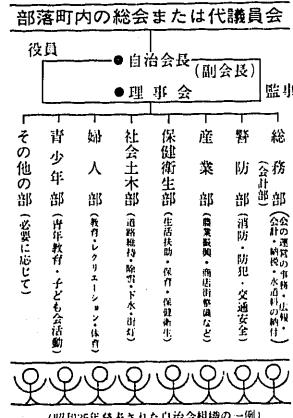
それがどうやら物的生産の面から、共通の問題というふうなところがあるわけなんで、たとえそれがあるわけなんでも、日用品の共同購入や牛乳の一括割引購入、当番制で配達をやっているといふようなところがあるそうですが、そういう物的経済生活の面から協力し合おう。

古い部落と「うごこころ」には必要以上の協力という因習があつてかえって窮屈だったのでは、こうした不合理的は無くする。団地では必要なだけの共同生活を営むための協力が必要。この両者をうまく組み合わせて、いつまでも「新しいふるさと」をつくる。

団地に住む人は、今度ここがなつかしい故郷になるんですからね。わたくしが望むのは、早く農業の市民になつてもらいたい、いといふことですね。

米たばかりのときは、早速団地の住民なんです。早速団地へ来た人の大部分は、農業

り手がなくて困るというところもある。一方、地域の仕事をうまくまとめて機関に運営しているところもある。



よい、という意見もあります。で考えてみます。崎の、は、福財財團から一千三百八十九万円とし、多額の補助金をもつてあります。それで、今まであるのを造りましたが、ほかの地区の一部が簡易水道でなくなって、るようだ。近漁瀬湖ってとてもだめだうようなところもでてきました。戸石自体に無理がかかるよから、二・三年で水質が改善するんですね。

## 新しい団地にのぞむこと

早く「豊栄」の市民になつて  
農業というと人口急増  
合がよいといふわけで個々の立場  
人口急増というと早通団地  
の名前がでます。そして地域的  
な連帯感といふことがない無い  
ことをひつと。  
本 わたくし新潟から早  
國地に住んで、四年くらい  
なります。新潟と比べて市  
のものは小さいだけれど  
人情というかそういうも  
のが何が親しみやすい感じで  
ね。  
これから国地もさらに大き  
なりますが、どういう方向  
新しい市民と接するのか、  
この辺のお考えを。  
市長 そうですね。わたし  
は国地社会というのがあると  
うんで、こんなことを考え  
いるんですね。いわゆ  
る利益集团というう  
ですね。自分の利益  
でここにいる方が都  
市社会は、それだけ  
はめだと思ひうんです。」「  
さす、犯されず」ということ  
もありますが、必要なとき  
協力し合う暖かい社会を新  
につくるとこうことが、最  
必要だと思ひます。  
それで、政府でも最近コ  
ニニティーといふことをい  
じめましたね。近隣社会と  
うことなんですが……。  
にはまず、親しみ合うこと  
先だということなんです、す  
みませんがもう少くようや  
考えをお持ちなら、たと  
ば国地ぐるみの益々頃ら、たと  
えながら人が顔を合  
ういうところから検討をする  
べきですね。

(昭和44年10月、県営住宅3棟が完成、48年12月は人口  
3千5百人の新しく生まれたな郷下最古の見通田地)

地方自治体や国という制度、できた。蚊やエをなくすために、自分だけ薬剤を撒いていためで、近所隣りでいっしにやりますね。そうした最後の単位が隣り組や自治会で、もちろんそれ以上のことは町村や県の行政、国の政治になります。道路だけを考えても、個人や隣り組の私道、国道、県道、国道とあります。高度に発達した社会では、すべて政府や地方行政団体などは、大いに市民の協力を実際はまだそこまで行きません。特に、財政力の低い豊かな自治体に協力するといつて、その成果は個人が利益を受